

平成24年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交通政策課（内線：7100）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
智頭急行 利用促進費	118,940	106,511	12,429			(諸収入) 100,048 (財産収入) 4,602	14,290	
トータルコスト	123,768千円（前年度112,103千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	智頭急行との協議・調整、基金管理運用、列車の魅力アップ、協議会運営							
工程表の政策目標（指標）	智頭急行スーパーはくと等の増便・延伸など幹線鉄道網の充実 関西圏との交流人口の増（スーパーはくと、高速バス利用者数の増） （智頭急行利用者数：1,200,000人）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>「スーパーはくと」の車体に装飾を施すなど、列車の内外において「まんが王国とっとり」や本県の魅力発信を行い、観光誘客、鉄道利用者の増加を図る。 また、智頭急行の経営安定化、利便性向上を図るため、運営助成基金の管理運用、協議会による利用促進事業等の所要の支援を行う。</p>								
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p>								
区分	予算額	内容						
①「スーパーはくと」 の魅力アップ	11,800	<p>ア 車両装飾(9,000千円) 本県にゆかりのあるまんが素材を活用し、本県の魅力ある風景等を「スーパーはくと」の車体にデザインして装飾。</p> <p>イ ブックレット（小冊子）の提供(2,800千円) 「国際まんが博」の開催にあわせ、本県にゆかりのあるまんがを紹介するブックレットを座席ポケットに配架し、乗客へ提供。</p> <p>ウ その他 「まんが王国とっとり」や本県の魅力等のPR映像を車内モニターで放映、ポスターの掲示など。</p>						
②観光情報の提供	2,300	「山陰DC」や「国際まんが博」などの期間にあわせ特急スーパーはくと座席ポケットに観光パンフレットを配架する。(2,300千円)						
③智頭鉄道運営助成基金積立金	104,650	<p>平成19,20年度に行われた特急車両の内装更新経費に係る智頭急行(株)への貸付金の元利償還金、基金運用益を基金に積み立てる。</p> <p>ア 貸付金元利償還金 100,048千円 (内訳) 19年度貸付分 元金 40,000+利息 12 20年度貸付分 元金 60,000+利息 36 ※貸付金残高 160,000千円(平成23年度末現在)</p> <p>イ 基金運用益 4,602千円</p>						
④智頭線利用促進協議会負担金	40	利用促進イベント、観光誘客のための広報などを協議会活動を通じて実施する。						
事務費	150							
計	118,940							